

松浦市の橋の特徴

松浦市は、北松浦半島の北東部の旧松浦市と鷹島・福島からなり、市内全域にわたって15m未満の橋梁が多く分布しています。15m以上の橋梁は全27橋中26橋が旧松浦市に位置しています。事後保全的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図るためにも、計画的な維持管理を行っていく必要があります。

計画策定対象橋梁の内訳

【旧松浦市】

15m以上	26橋		
15m未満	123橋	：合計	147橋

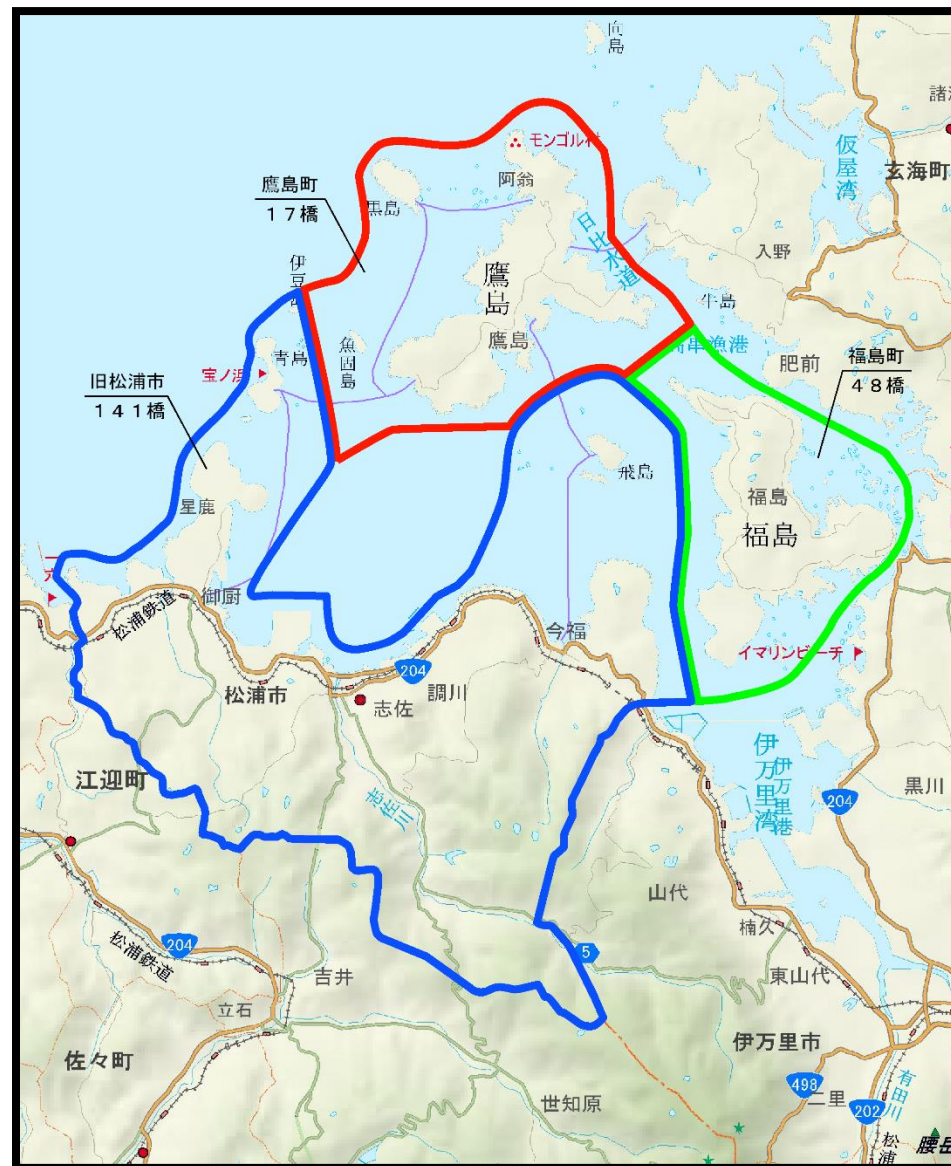
【鷹島町】

15m以上	なし		
15m未満	17橋	：合計	17橋

【福島町】

15m以上	1橋		
15m未満	46橋	：合計	47橋

全 211橋



松浦市の橋の今とこれから

特徴1

高度経済成長期からそれ以降10年間で架設されている橋が86橋です。



架設後30年以上経過している橋が多い

特徴2

これから20年間で急速に老朽化していく橋が増えます。

特徴3

沿岸部および島部は、海からの影響により塩害を受けやすい環境にあります。



海風の影響で橋が劣化しやすい

今後急速な補修補強費の増大が予想される！ ➡ 橋の状態を常に把握し、計画的に対策を施す必要がある。

橋の健康状態を知るために

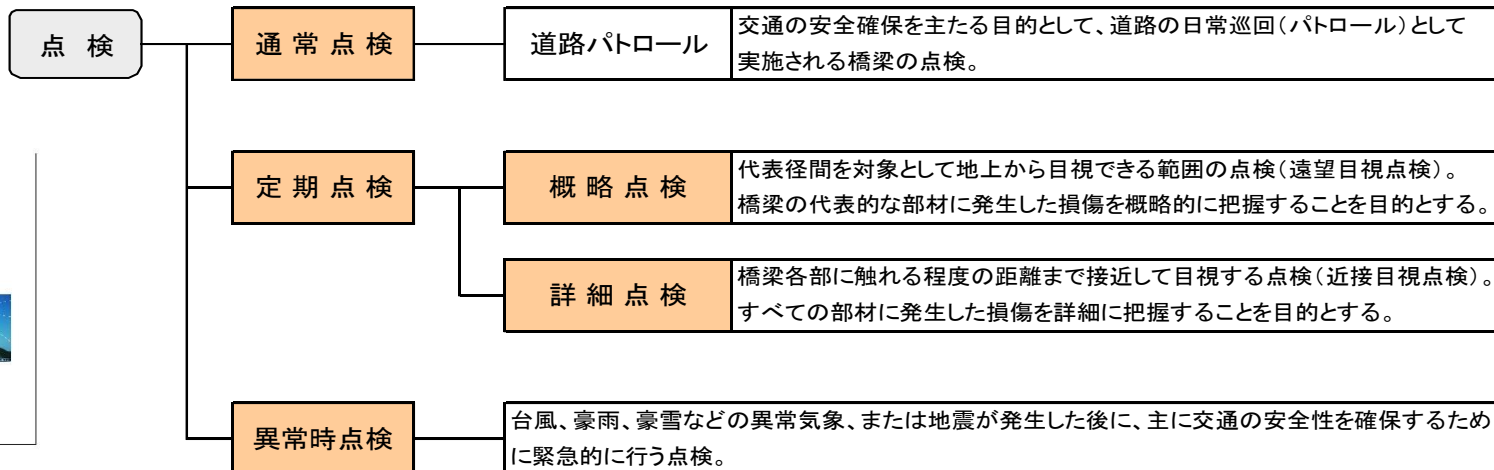
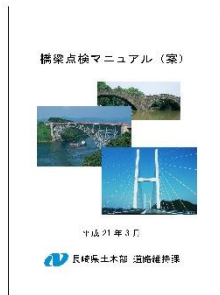


効率的に橋梁の健康状態を調査

長崎県は、橋の点検を、効率的かつ低価に実施することができるように、橋梁点検マニュアルを整備し、橋梁点検支援システムを構築しました。また、点検の体系についても確立しています。

松浦市においても、長崎県により整備されている橋梁点検マニュアルを利用して概略点検を行うことにより、管理している橋の健康状態を効率的に把握することができました。

今後も定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握し、適切な維持管理を実施していきます。



橋の寿命を延ばすために

橋は市民の大切な財産です ⇒ 次の取り組みにより橋の寿命を延ばして財産を守ります

- 橋梁点検結果により、架替え検討もしくは修繕が必要と判断した橋については、**早期対策**を実施します。
- 他の橋についても定期的な点検及び早期の修繕に取り組み、橋を長持ちさせます。 → **予防保全型への転換**を図ります。
- 定期的に点検を実施し、橋の健康状態を常に把握します。
- 財政状況を考慮した対策を実施し、**効率的な維持管理**を実行します。

橋の健全性を向上させ、安全で安心な橋を保ちます。

長崎県市町橋梁長寿命化検討委員会

本委員会では、橋梁長寿命化修繕計画の策定にあたり、学識経験者等の意見を聴取し、計画に反映させております。



- ◆長崎県下各市町が「橋梁の定期的な補修によるコスト縮減効果」と「橋梁の健全性の維持」の両方について考慮することが必要です。
- ◆町民・市民の視点に立って、安全安心ということを念頭に置いておくことが重要です。

橋の長寿命化修繕計画

今回、対象となった212橋（15m以上：全27橋、15m未満：全184橋）について長寿命化修繕計画を見直しを行いました。

点検によって捉えた劣化損傷に対して、修繕が必要な橋から早めの対応を行うことにより予防保全型へと移行し、安全性を高めるとともに、将来にわたって維持修繕にかかるコスト縮減を図ります。

今回の計画策定は、管理する橋梁全てを対象としています。今後は計画に基づいて、点検・修繕を行っていきます。また、必要に応じて計画の見直しを行うことで、より充実した維持管理を行っていきます。

長寿命化修繕計画の実施方針

- ◆点検結果より修繕が必要と判断された橋は、**早期対策**を完了し、維持管理水準を高めます。
- ◆長寿命化修繕計画策定後は、橋の維持管理を**予防保全型**へと移行し、**安全性の確保**と**コストの縮減**を図ります。
- ◆今後は定期的に点検を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。
- ◆修繕にあたっては予算の平準化を図りながら、計画的に実施します。